

白鳥誠 市政レポート Vol.94

発行：千葉市議会議員 白鳥誠事務所

〒266-0033 千葉市緑区おゆみ野南2-97-9 TEL.043-293-7130 FAX.043-307-4882
E-mail : info@m-shiratori.jp URL : www.m-shiratori.jp



令和6年 第1回定例会議会報告 (2月21日～3月19日)

本年1月1日に発生した能登半島地震で犠牲になった方にお悔やみ申し上げるとともに、被災した多くの方たちにお見舞いを申し上げます。地域によっては未だ断水が続いており、千葉市の職員も応援で派遣されているなか、令和6年第1回定例会が2月21日から行われました。その中で、令和6年度の当初予算が審議され、賛成多数で可決しました。新年度予算では、少子・超高齢化や人口減少社会など従来からの対応のほか、地域公共交通の維持や能登半島地震を教訓にして災害に強いまちづくりを進め、私たち市民が将来にわたって住み続けたいと思える街となるような対策が求められています。

今号では、今定例会で審議されたR6年度当初予算や私の会派の代表質疑の内容等について、報告します。

令和6年度当初予算(一般会計) 5,094億円
(対前年度比 264億円増 5.5%増)

令和6年度予算は、社会経済状況の変化に対応しつつ、持続的発展に向けたまちづくりを進めるための事業を進めるとともに財政健全化や行政改革に取り組むことを基本的な考え方として、編成されました。

令和6年度の主な事業、新規・拡充事業(一部) ()内:予算額

【拡充】子ども医療費助成(予算額 34億2,600万円)

子育て世帯の医療費負担の更なる軽減を図るため、助成制度を拡充：
助成対象年齢の拡充、小学4年生以上の通院に係る保護者負担額の軽減
実施時期：令和6年8月診療分から

【拡充】児童手当支給(予算額 143億1,100万円)

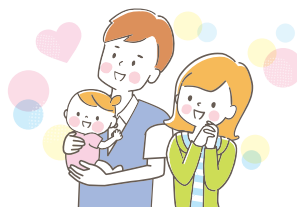
国の制度改正に伴い、制度を拡充：
所得制限の撤廃、支給期間の延長、第3子以降の支給額の増額
開始時期：令和6年10月分から

【拡充】民間保育園等整備(予算額 8億7,200万円)

増加する保育需要に対応するため、民間保育園の新設等を実施：25か所
総定員数(予定) R6.4月：19,882人→R7.4月：20,672人(+790人)

特別養護老人ホーム整備費助成(予算額 9億5,800万円)

社会福祉法人等による特別養護老人ホーム等の整備に対し助成
(特別養護老人ホーム：208床 併設ショートステイ：52床)



介護人材の確保・定着

【拡充】介護職員研修受講者支援(予算額 2,500万円)

介護職員初任者研修及び介護福祉士実務者研修の受講費用の助成制度を拡充

【拡充】防災備蓄倉庫の整備(予算額 3,300万円)

避難所等に配備した備蓄品を適切に管理するため、防災備蓄倉庫を整備
(追加整備：42か所、老朽化による更新：5か所)



【拡充】帰宅困難者用備蓄品整備(予算額 900万円)

新たに帰宅困難者一時滞在施設に指定した施設へ備蓄品を整備(新規指定施設：2施設)

【拡充】避難行動要支援者の支援体制の強化(予算額 800万円)

害時における避難行動要支援者の個別避難計画を作成(計画作成件数：400件)



【拡充】地域公共交通支援(予算額 4,100万円)

路線バスやタクシーの運転手不足への対策として、人材確保に係る支援制度を拡充運転手養成支援：
2種免許取得に係る教習費(R6～特例講習を対象に追加)

支援金額：バス事業者 上限30万円、タクシー事業者 上限5万円

※特例講習受講の場合は別途上限15万円

求人支援 対象経費：求人に係るイベント、ホームページ作成等に係る経費

支援金額：バス事業者 上限6万円×従業員数×1/2 / 者

※対象は中小企業規模のバス事業者に限る

タクシー事業者 上限30万円/者



【新規】生活交通バス路線維持支援(予算額 7,500万円)

生活交通として必要なバス路線を維持するため、バス事業者に対し、運行に係る経費の一部を助成
対象路線：運送収入等では維持・確保が困難な路線のうち、代替交通手段の有無、運行回数、輸送量等から支援対象路線を選定

補助額：経常費用(運行経費等)に対する経常収入(運賃収入等)の欠損分を助成

補助率：上限10/10

【新規】大宮台コミュニティバス運行(予算額 1,900万円)(債務負担行為 1,000万円)

路線バスの廃止に伴い、新たなコミュニティバスを運行

(対象区間：鎌取駅、大宮台団地、千城台駅など 運行開始予定 R6年4月)

【拡充】新たな地域公共交通導入に向けた社会実験(予算額 2,500万円)

地域主体によるデマンド型交通の社会実験を引き続き実施

(実施地区 R5：緑区高津戸町北部エリア→R6：大椎台、下大和田地区を追加)



【拡充】食のブランド化推進(予算額 2,300万円)

本市産品の高付加価値化及び競争力強化を図るため、食のブランド「干」の認定制度を運用するとともに、新たに都内での販売イベント等を実施

内容：認定事業者支援、商品開発補助、プロモーション等販路拡大支援等

【拡充】有害鳥獣対策の推進(予算額 3,700万円)

●農作物被害対策 中型獣の集中捕獲地域を拡大するとともに、新たにイノシシ集中捕獲等を実施
中型獣集中捕獲 R5：若葉区(1地区)→R6：若葉区・緑区(2地区)

イノシシ集中捕獲 若葉区・緑区(2地区)

●生活被害対策 イノシシ捕獲用わなを増設するとともに、安全対策の周知を実施

〔捕獲わな設置数 R5：29基→R6：39基(+10基)〕

その他、地域経済の活性化、障害のある方への支援、動物愛護の推進、地球温暖化対策の推進、環境負荷に配慮したごみの削減と適正処理、消防力の充実・強化、多文化共生社会の推進、文化芸術活動の創出と支援、市民スポーツ活動の促進・支援、等の幅広い分野で拡充・新規の施策が盛り込まれました。

財政健全化状況

主な財政指標

〈基金借入残高の推移〉

過去に収支不足を穴埋めした基金からの借入は、R6年度10億円を返済し、借入残高(H25-312億円)は147億円となり、着実に削減。



〈財政調整基金残高の推移〉

*財政調整基金—自治体の積立金、災害など必要やむを得ない理由で財源不足が生じた年度に活用する。
令和6年度は、扶助費や物価高騰などの財政需要増に対応するため、当初予算で78億円の取崩しを行うものの、当初予算時点では、一定の残高(61億円・H27-54億円、R5-139億円)を確保する見込み。

〈全会計市債残高の見込み〉

R5 9,678億円 R6予算 9,764億円

令和6年度は、新清掃工場の整備などに伴い建設事業債の発行が増となることから、残高は、前年から86億円増加する見込みとなっていますが、財政健全化を大きく損なう状態とはなっていません。

代表質問 (一部、要約)

未来につながる施策について

神谷市長答弁

新年度予算においては、物価高騰の状況が続く中においても、市民生活や社会経済活動の向上を図るとともに、安心して暮らせる持続可能なまちづくりを推進するべく、予算編成にあたっては、各種財政指標への影響に留意しながら、本市ならではの都市の魅力・活力を更に磨き上げ、市民生活の向上につながる施策について、重点的な投資を図ってきた。具体的には、…や地域主体によるデマンド型交通の社会実験実施地区を追加するほか、老朽化の進む千葉マリスタジウムの建替、改修に係る基本構想・基本計画策定を進めるなど、各区の特性を活かしたまちづくりを推進する。さらに、地域公共交通の維持を図るため、運転手不足への対応強化やバス路線を維持するための新たな助成といった対策を講じるとともに、地域経済の更なる活性化を図るため、ネクストコア千葉誉田周辺道路整備を進めるほか、動物愛護施策の推進のため、(仮称)動物愛護センターの整備に着手する。このほか、産後の母子の支援体制強化を図るため、産後ケアの対象年齢を拡充するとともに、保育の質の向上として、公立保育所の3歳以上児への主食提供を順次開始す

るほか、学びの環境を整えるため、外壁改修など学校施設の環境整備を着実に推進する。また、今後のプラスチックの分別収集・再資源化に向けて、モデル事業を実施するとともに、市内中小企業者のSDGsの取組を促進するため、資金融資に係る新たな支援制度を創設するほか、町内自治会活動の活性化・効率化を図るため、新たにDX化に向けたモデル事業を実施する。こうした施策への積極的な投資により、本市の魅力、活力が更に磨き上げられ、市民の豊かな生活につながるものと考えており、今後も、未来に向けて安心して暮らせる持続可能なまちづくりの推進に取り組む。



今後の財政運営(財源確保)について

神谷市長答弁

各種行政コストの上昇や事業費の増高に加え、金利の上昇が見込まれるなど、難しい財政運営が強いられる状況の中、将来にわたり持続可能な財政構造を確立するためには、財源確保策

の更なる強化を図るとともに、各種施策の実施にあたっては、収支状況や将来負担なども踏まえた慎重な判断が必要であると考えている。この考えの下、将来の税源の涵養につなげるため、従来から取り組んでいる企業立地の促進はもとより、令和6年度については、市内で枯渇している産業用地を確保するべく、次期候補地選定に係る基礎調査を実施するなど、切れ目のない企業誘致に向けた取組を展開する。加えて、子ども医療費助成の更なる拡充や保育・教育環境の充実など、子どもを産み、育てやすい環境づくりを推進し、生産年齢人口の維持・増加につながる取組を強化する。

引き続き、事業費の精査の徹底などに加え、財政状況などを見極めながら、実施スケジュールの調整を行うなど、柔軟に対応しながら推進を図る。厳しい財政状況下においても、健全性の維持を図り、持続可能な財政構造の確立に努めたい。



大地震の恐れ!

～能登半島地震の教訓を活かして～

今年2月から3月にかけて関東地方で大きな揺れが頻発しています。本市は大きな地震に見舞われる確率は高いと以前から言われており、近年起きた大きな災害の教訓を生かしていかなければなりません。被災した自治体では、全国の多くの自治体から職員が派遣され、協力して対応に当たっています。本市からも、3月末時点(予定)で災害派遣人数は延べ340人を超えています。大きな災害での教訓を災害対応に生かすために、災害対応にあたった職員の現場からの教訓はとても大切です。能登半島地震では、罹災証明の発行・避難所の環境・水道等のインフラ設備の復旧等様々な問題が指摘されています。今後も、私は職員等からの声を集約して本市の災害対応に生かしていくことを強く求めて参ります。



千 sen

千葉市食のブランド
「千(せん)」
第4回認定品
10点が決定 (令和6年2月17日)

第4回認定品として、新たに商品9点、サービス1点が加わり、認定品の総数は、商品33点、サービス5点、合計38点となりました。



ファームサポート千葉の竹炭ブルーベリー(竹炭栽培)

【ファームサポート千葉合同会社】
地域の竹林整備で伐採した竹で作った竹炭チップを土壌にすき込み、育てています。甘さ・粒の大きさ・えぐみの無さと三拍子揃ったブルーベリーです。

白鳥 誠 プロフィール



- 1958年 (昭和33年)1月30日生まれ
- 1976年 千葉県立木更津高校卒業
- 1981年 立教大学を経て、そごう百貨店入社 (1999年まで18年間、有楽町そごう勤務)
- 2003年 衆議院議員公設秘書
- 2007年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。初当選
- 現在 千葉市議会議員(無所属・5期目)

今回取り上げた問題等、市政に関わること何でも結構です。みなさんのご意見をお聞かせください。どうぞよろしく願いたします。

E-mail : info@m-shiratori.jp Fax : 043-307-4882

市政報告のお知らせ

4月20日(土)

- 11:00~12:00 (鎌取コミュニティセンター・会議室)
- 13:30~14:30 (誉田公民館・工作室)
- 15:30~16:30 (あすみが丘プラザ・会議室2)

